

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2153 号

Nocturnal intermittent hypoxia and chronic kidney disease among middle-aged and elderly Japanese population: The Toon Health Study

日本人の中老年における夜間間欠性低酸素症と慢性腎臓病の関連：東温スタディ

村上 歩 (むらかみ あゆみ)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、日本人の地域住民を対象として、夜間間欠性低酸素血症 (nocturnal intermittent hypoxia (NIH)) と慢性腎臓病 (chronic kidney disease (CKD)) の関連を明らかにすることを目的とした。これまでに、睡眠呼吸障害 (sleep disordered breathing (SDB)) が CKD の危険因子となることが先行研究により示唆されているが、アジア人の地域住民を対象とした研究はほとんどない。対象は、愛媛県東温市で行われている疫学研究「東温スタディ」に 2009～2012 年に参加した、男性 685 名、女性 1,259 名であった。性別による解析の結果、女性では、正常群 (3%ODI (Oxygen Desaturation Index) <5 回/時間) と比較して、軽度 ( $5 \leq 3\%ODI < 15$  回/時間) および中等度以上 ( $3\%ODI \geq 15$  回/時間) の NIH 群では、CKD の多変量調整オッズ比は 1.00 (0.67-1.49) と 2.86 (1.28-6.40) であった (傾向性 P 値=0.06)。一方、男性における軽度および中等度以上の NIH 群の多変量調整オッズ比は 1.11 (0.78-1.72) と 0.98 (0.55-1.75) であった (傾向性 P 値=0.80)。

本論文は、日本の地域住民を対象として、睡眠呼吸障害と慢性腎臓病の関連を明らかにした初めての論文であり、CKD 予防における SDB のスクリーニングの重要性を示唆する意義ある論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。